

# 鬼怒川のダムでは洪水期の管理が始まりました

鬼怒川上流の3ダム(いずれも栃木県日光市)では本日6月15日から台風等大雨に備えて洪水を貯める容量を空けておく管理を開始しました。

鬼怒川のダムでは、今後もきめ細やかなダム操作により洪水及び用水供給に対応してまいります。

※ 洪水期とは、梅雨の時期や台風の時期など、降水量が多く洪水が起こりやすい時期をいいます。



## 川俣ダム

令和4年6月15日撮影



川俣湖

夏期制限水位 標高 967.50m  
(利水のための最高貯水位＝満水位)

6月15日0時貯水位 標高 968.14m

## 川治ダム

7月1日から洪水期の管理を開始します。  
川治ダムにおいても「弾力的管理試験」を実施する予定です。

(6月15日0時貯水位 標高606.93m)

## 湯西川ダム

令和4年6月15日撮影



湯西川湖

夏期制限水位 標高 666.50m  
(利水のための最高貯水位＝満水位)

6月15日0時貯水位 標高 666.11m

## 五十里ダム

令和4年6月15日撮影



五十里湖

夏期制限水位 標高 578.00m  
(利水のための最高貯水位＝満水位)

6月15日0時貯水位 標高 579.40m

※ 川俣ダム・五十里ダムでは、洪水を貯める容量の一部を平常時のために有効活用する「弾力的管理試験」を行っています。  
このため、本日の貯水位は、夏期制限水位以上の標高にあります。